

令和5年7月20日 終業式 校長式辞

○それでは改めて、相手に伝わる気持ちの良い挨拶をしましょう。

桜っ子の皆さん、おはようございます。

○先ほど、5年生の さんから、「1学期に頑張ったこと」の発表をしてもらいました。とても素晴らしい発表でしたね。朝マラソン、委員会活動、陸上大会を頑張ったということでした。その他にも、5年生は1学期に林間学校もありましたね。いろいろな経験を通して、大きく成長した1学期だったと思います。

○桜っ子のみなさん一人一人にとっても、何事にも一生懸命頑張れた、素晴らしい1学期だったのではないのでしょうか。学校全体を見ても、あいさつ運動、無言清掃、朝マラソン、そして日々の授業など、とてもよく頑張っていましたね。とても立派でした。全員に、心から拍手を送りたいと思います。みなさんも、頑張った自分自身に、そして、周りのお友達に、拍手を送りましょう。

○さて、早いもので、今日で1学期が終了となります。この後、それぞれの教室で、担任の先生から通知票「あゆみ」が渡されます。1学期に頑張れたこと、成長できたことを確認するとともに、「これからもっとがんばりたいこと」が見つけれられるといいですね。

○明日から39日間の長い夏休みが始まります。どんな風にして過ごそうかな、いろいろなことを楽しみたいなど、わくわくしている桜っ子がたくさんいることと思います。せっかくの長い休みです。海や山などにお出かけしたときなどに、体を思い切り動かしてたくさん遊ぶのも良いでしょう。興味があることをとことん調べてみるのも良いでしょう。エアコンの効いた図書館で読書を楽しむのもいいかもしれませんね。他にも、夏休みにしかできないことはたくさんあります。色々なことにどんどん挑戦して、自分を成長させる夏休みにしてほしいと思います。

○桜っ子が、そんな充実した夏休みを過ごすために、校長先生から1つの言葉を送ります。

「『成功』の反対は『失敗』ではなく、『何も挑戦しないこと』である。」という言葉です。

○突然ですが、皆さんは「エジソン」という人を知っていますか？暗闇を照らす「電球」をはじめ、たくさんものを発明した「発明王」です。このエジソンをはじめ、たくさんの方が言ったり、大切にしたりしているのが、先ほど紹介した「『成功』の反対は『失敗』ではなく、『何も挑戦しないこと』である。」という言葉です。

○国語辞典で「成功」の反対の言葉、対義語を調べると「失敗」と載っています。ただ、エジソンは、次のような言葉も残しています。「私は失敗したことがない。ただ、1万通りの、うまく行かない方法を見つけただけだ。」

○たくさんの発明品を後世に残したエジソンですが、1つのものを発明するためには、数えきれないほどの「失敗」をしているはずですが、でも、それは、エジソンに言わせれば「失敗」ではない。「うまくいく方法を見つけるための1万通りの挑戦であり、それらの挑戦があったから発明に「成功」したということです。

○もしも、「うまくいかない」ことを「挑戦」だと捉えることができず、「失敗した」と思って、そこであきらめてしまったら、何一つ発明することはできなかったでしょう。

○スポーツなどでも、同じことが言えます。メジャーリーグで大活躍している「大谷翔平選手」だって、これまでに、「うまくいかないこと」は数えきれないほどあったと思います。でも、エジソンと同じように、「うまくいかない」ことは失敗ではなく、できるようになるための「挑戦」だと信じて、何度も何度もあきらめずに努力した結果が、今の大谷選手なのだと思います。

○桜っ子の皆さん、先ほども言いましたが、色々なことにどんどん挑戦して、自分を成長させる夏休みにしてくださいね。皆さんの「挑戦」を、心から応援しています。

○ただし、熱中症や感染症、事故や事件に逢わないように気を付けながら、無理なく「挑戦」をするようにしてほしいと思います。

○2学期のスタートは8月29日火曜日です。全員が、怪我や事故なく、楽しく充実した夏休みを過ごして、またこの桜川小学校で、一回り成長した桜っ子のみなさんと会えることを、先生たちみんな、楽しみに待っています。

それでは、お話を終わりにします。